

○ 衝突安全技術検討WG

【開催状況】開催回数：1回 第1回：平成24年6月14日（木）

| 主な審議項目 | 審 議 状 況 等 |
|--|--|
| 後席ダミー(AF05)の肩ベルト外れの調査研究報告 | <p>【第1回】 「平成23年度 前面衝突後席乗員保護性能評価における後席ダミー（AF50）の肩ベルト外れ調査研究報告」について、日本自動車研究所から報告があった。調査の結果、ベルトパス位置を変更することにより、肩ベルト外れの発生の有無を再現することが出来た。その結果、正規位置に対して境界位置、脱落位置となるに従い、胸部変位が大きくなる傾向が確認された。</p> |
| 後席ダミー(AF05)の肩ベルト外れについて | <p>【第1回】 上記調査結果を踏まえ、平成24年度の肩ベルト外れの判定方法について議論した。</p> <p><u>→平成24年度の肩ベルト外れの確認方法は、試験時の頭部前方移動量が最大となった時点の「胸部変位（胸たわみ）量が48mmまでは既存の評価として、肩ベルトの位置にかかわらず肩ベルト外れのコメントは行わない」、「胸部変位（胸たわみ）量が48mmを超え、かつ、肩ベルトがダミーの鎖骨から肩関節部に移動している場合についてはコメントを付与」することとなった。</u></p> |
| 後部座席からのシートベルトリマインダー(PSBR)視認性評価法の検討について | <p>【第1回】 後部座席からのシートベルトリマインダー(PSBR)視認性評価法の検討を行うにあたり、アイリプスを用いた図面を用いる確認方法の妥当性等を実車検証することとなったため、検証事項の概要について説明があった。</p> <p><u>→アイリプスを用いた図面を用いる確認方法について、平成24年6月28日（木）に実車検証を行う旨報告があった。</u> <u>今後は、実車検証の結果等を踏まえて、表示警報の確認方法・評価方法の検討を行うこととしている。【継続審議】</u></p> |

○ 予防安全技術検討WG

【開催状況】開催回数：1回 第1回：平成24年6月7日(木)

| 主な審議項目 | 審議状況等 |
|----------------------------|--|
| 予防安全技術の基礎調査研究報告 | <p>【第1回】 「予防安全技術の効果評価及び試験導入における基礎調査研究」について、予防安全技術の事故カバー率、諸外国のアセスメント試験等における予防安全技術の試験方法及び評価方法の検討状況、横滑り防止装置の評価試験方法の実施とそのメリットデメリットについて日本自動車研究所から報告があった。</p> |
| 予防安全技術アセスメントのロードマップ（案）について | <p>【第1回】 予防安全技術アセスメントのロードマップ（案）の提示があり、自動車アセスメントにおける予防安全技術の評価対象、導入時期及び導入までのスケジュール、公表に関する基本的考え方等について議論した。</p> <p><u>→予防安全技術アセスメントのロードマップ（案）について、第1回WGにおける議論を踏まえて事務局において修正案を作成し、後日のメール審議により検討会資料3の内容で合意された。</u></p> |